

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ALPとLDの測定法については、日本臨床化学会（JSCC）より、『2020年4月1日より準備の整った施設より1年間で測定法をJSCC法からIFCC法に変更する』との発表がありました。この為、弊社では、学会方針に基づきIFCC法試薬での検査受託を開始します。

なお、現行のALPとLDのJSCC法での受託は2021年3月末日をもって中止とする予定です。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- ALP(アルカリホスファターゼ)／IFCC 項目コード：1694
- LD(乳酸脱水素酵素)／IFCC 項目コード：1766

受託開始日

2020年 4月1日（水）受付分より新規受託開始

【受託要項】

項目コード	検査項目 JLAC10	検体 必要量 (mL)	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料
1694	ALP／IFCC (アルカリホスファターゼ) 3B070-0000-023-271	血清 0.4	A1-1 冷蔵	IFCC 標準化対応法	38～113 U/L	1～2	11 生化 I
1766	LD／IFCC (乳酸脱水素酵素) 3B050-0000-023-272	血清 0.4	A1-1 冷蔵	IFCC 標準化対応法	115～245 U/L	1～2	11 生化 I

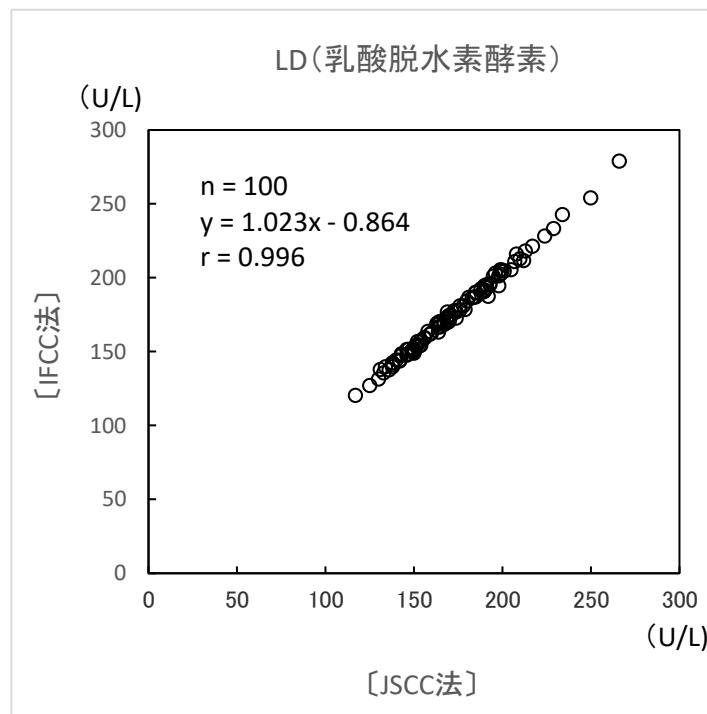
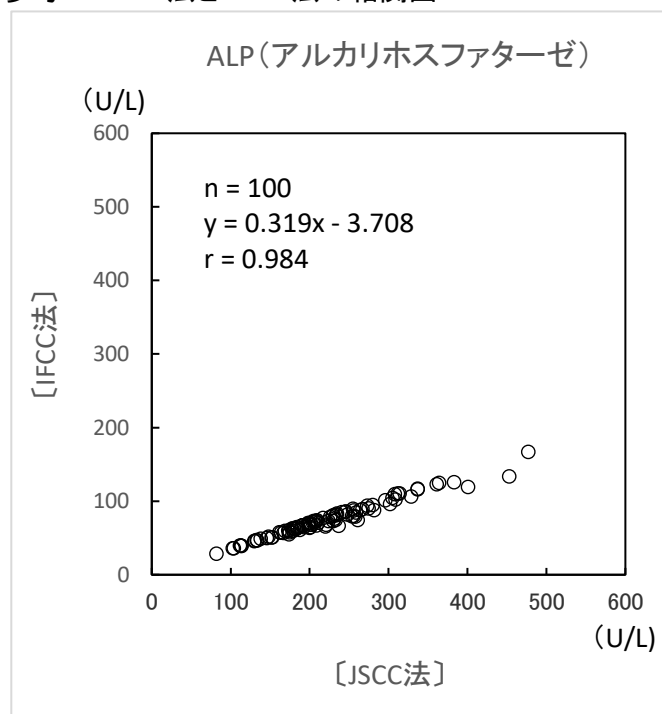


保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

2020年4月1日(水)受託分より新規受託開始

項目コード	検査項目 JLAC10	検体 必要量 (mL)	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
1694	ALP/IFCC (アルカリホスファターゼ) 3B070 - 0000 - 023 - 271	血清 0.4	A1-1 冷蔵	IFCC標準化対応法	38~113 U/L	1~2	11 生化 I	
1766	LD/IFCC (乳酸脱水素酵素) 3B050 - 0000 - 023 - 272	血清 0.4	A1-1 冷蔵	IFCC標準化対応法	115~245 U/L	1~2	11 生化 I	

▼参考・・・IFCC法とJSCC法の相関図



(グループ内検討データ)

【IFCC法に関する補足事項】

一般社団法人 日本臨床化学会 の資料には以下のことが記されています。参考情報としてご案内します。

(1) ALP について

- 測定値が現行(JSCC法)の 1/3 程度の数値になります。
- 変更前後の値の換算には限界があります。IFCC 法に変更することで血液型B,O 型では小腸型 ALP を含む検体で低めになり、逆に妊婦では胎盤型 ALPが増加することにより高めに測定されます。

(参考)

- ・JSCC 法測定値から IFCC 法測定値に換算：0.35 倍
- ・IFCC 法測定値から JSCC 法測定値に換算：2.84 倍

○ALP アイソザイム試薬についても IFCC 法に対応した新しい処方のもので発売されますので、その IFCC 法に対応した試薬での測定が必要です。

(2) LD について

- LD5 優位検体では現行の JSCC 法に対して低めの活性になります(LD5 が50%の症例では測定値の差は 20% 未満)。
- 換算せずそのままの測定値を使ってください。

▼検査方法参考文献

Schumann G, et al.: Clin Chem Lab Med, 49(9) : 1439-1446, 2011.